

令和元年東日本台風では、全国各地で甚大な被害が発生したことを踏まえ、上庄川水系においても、事前防災対策を進める必要があり、以下の取組みを実施していくことで、甚大な被害を生じさせた平成17年7月洪水と同規模の洪水による家屋浸水被害の解消を図る。



※具体的な対策内容については、今後の調査・検討等により変更となる場合がある。

- 上庄川では、県、市、土地改良区が一体となって以下の手順の「流域治水」を推進する。
 - 【短期】桑ノ院池における事前放流等の基本協定の締結、体制構築・実施を行うことにより、洪水被害を軽減する。
 - 【中期】上庄川下流部の市街地での重大災害の発生を未然に防ぐため河積確保を目的とした河道掘削等を実施。
 - 【中長期】上庄川中上流部の浸水被害を防ぐため、堤防整備や河道掘削等を実施し、流域全体の安全度向上を図る。
- あわせて越水、溢水の頻発箇所へは、必要に応じて、水位計や監視カメラを設置し、WEB上への配信追加・周知などを行うことにより、避難判断に役立てる。

区分	対策内容	実施主体	工程		
			短期	中期	中長期
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	上庄川の河道掘削、堤防整備、橋梁架替等	富山県			
	桑ノ院池における事前放流等の体制構築、実施等	富山県 土地改良区			
	砂防関係施設の整備	富山県			
	森林整備・治山対策	富山水源林整備事務所 富山県			
被害対象を減少させるための対策	立地適正化計画に基づく「安全なまちづくり」に向けた取組（防災指針策定など）	氷見市			
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	災害リスクの現地表示、洪水ハザードマップの周知、浸水実績の周知	富山県 氷見市			
	水位計・監視カメラの活用	富山県			

【事業費(R2年度以降の残事業費)】

- 河川対策
全体事業費 37.8億円※
河道掘削、堤防整備 等
- 砂防対策
砂防堰堤、集水井 等

※県の河川整備計画の残事業費を記載

整備期間が長くなるため、被害を減らす方法として堤防整備のみだけでなく、その他の洪水調整施設などの検討

R3に事前放流について基本協定を締結し体制の構築を図る

立地適正化計画への防災指針の記載と取組など

必要に応じて、越水、溢水の頻発箇所への設置やWEB上への配信追加・周知など

気候変動を踏まえたさらなる対策を推進